

平成 18 年 6 月 26 日

1 号機タービン建屋内における重油漏れについて

1 号機は定格出力にて運転中ですが、6 月 23 日午前 9 時 25 分頃、タービン建屋地下 1 階の所内ボイラ*室内において、重油サービスタンク付近の床に重油が溜まっているとの連絡を協力企業作業員より受けました。

ただちに当社運転員が現場状況を確認し、当該タンクレベル計の上下の弁を閉止したことにより、重油の漏えいは停止しました。

今後、原因を調査し、必要な対策を講じることといたします。

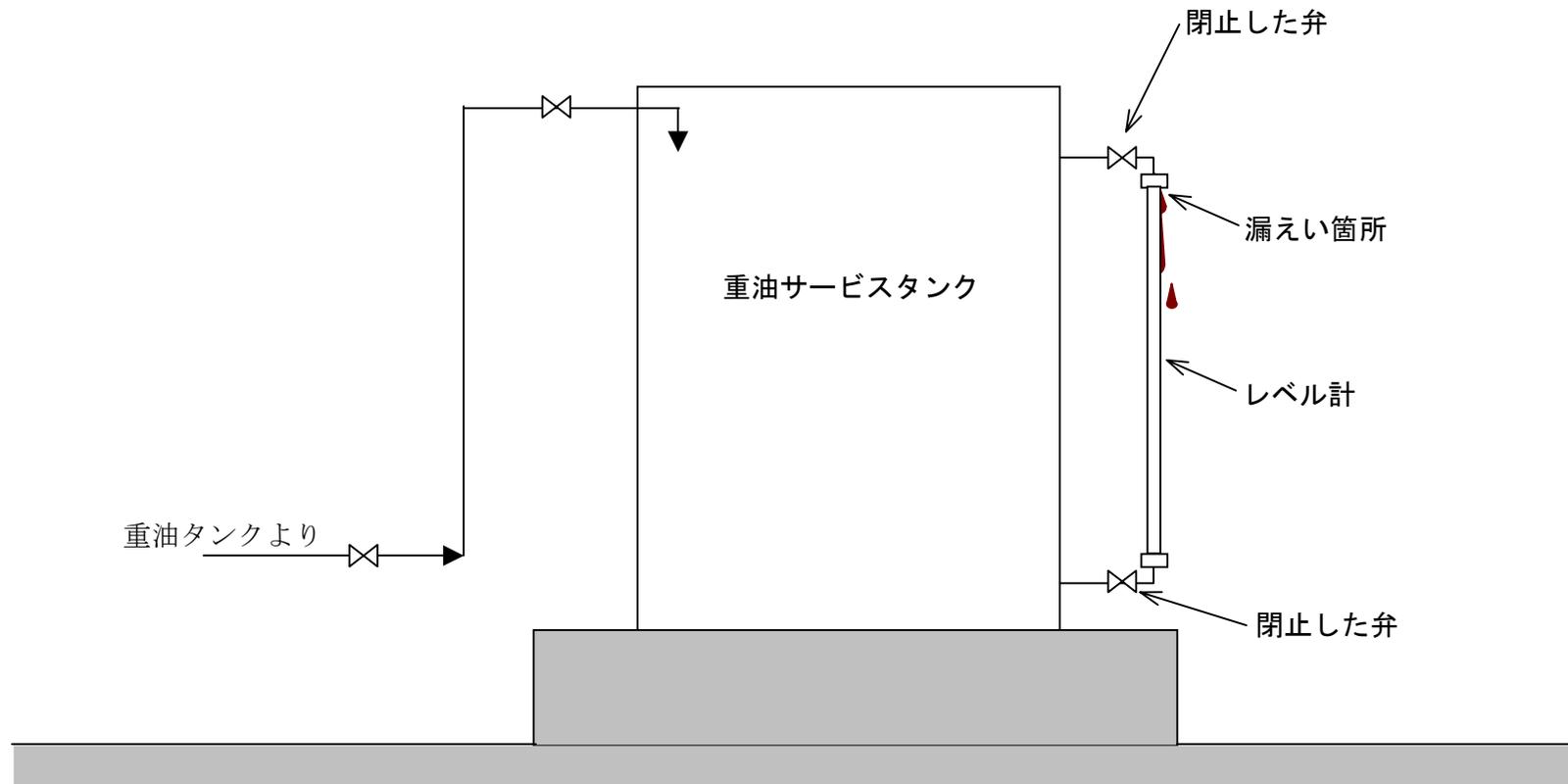
なお、床に溜まっていた重油の量は約 2 リットルで、拭き取りによる清掃を実施いたしました。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 所内ボイラ

1 号機では主に発電所建屋内の暖房用蒸気および気体廃棄物処理系に導かれた排ガスの加熱に使用している。



所内ボイラ室内における重油漏れの概要図